

雪印種苗「牧草品種」のご紹介

北海道種苗課 藤井 江治

平素より弊社商品をご用命賜り誠にありがとうございます。今回は夏～秋の播種作業を控え、北海道向けの牧草品種についてご紹介申し上げます。

チモシー「ホライズン」：早生

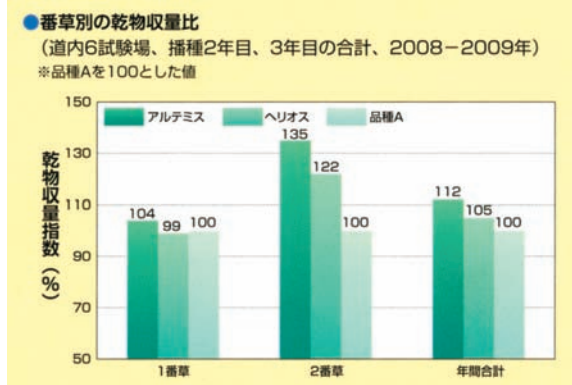
- ・早生品種の中ではトップクラスの収量性。特に2番草は出穂茎が多く極多収です。
- ・2番草の再生力が優れており、夏季の生育が旺盛なアルファルファ「ケレス」など、マメ科牧草との混播に適します。
- ・耐倒伏性が優れます。

チモシー「ホクエイ」：中生

- ・中生品種の中で最も耐倒伏性が優れます。
- ・アカクローバ晩生品種「アレス」、シロクローバ小葉型「リベンデル」との混播が適します。

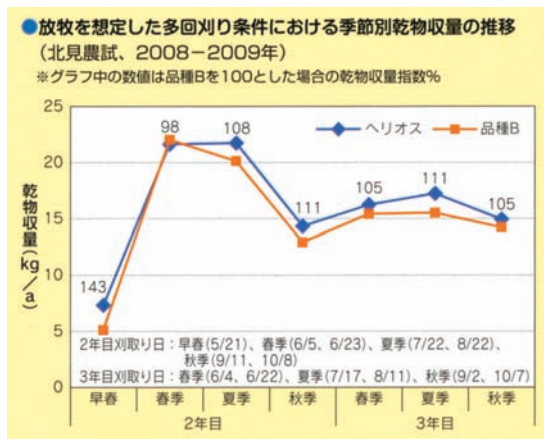
チモシー「アルテミス (SBT0308)」：中生の早

- ・キリタツプより6～7日早い中生の早です。
- ・収量性が優れ、特に2番草は極多収です。
- ・2番草の再生力が優れており、夏季の生育が旺盛なアルファルファ「ケレス」など、マメ科牧草との混播に適します。
- ・斑点病抵抗性が優れます。
- ・長沼・芽室・別海の3試験地で選抜し育成された品種です。



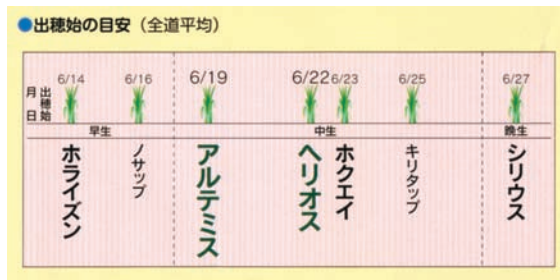
チモシー「ヘリオス (SBT0310)」：中生

- ・キリタツプより3日早い中生。
- ・放牧適性、耐倒伏性、斑点病抵抗性が優れます。
- ・各特性がランクアップしたホクエイ後継品種。
- ・長沼・芽室・別海の3試験地で選抜し育成された品種です。



チモシー「シリウス」：晩生

- ・特に1番草が多収です。反面、早生品種などに比べると2番草の再生が穏やかです。
- ・斑点病抵抗性が優れます。
- ・アカクローバ晩生品種「アレス」、シロクローバ小葉型「リベンデル」との混播が適します。



オーチャードグラス「バックス」: 晩生

- ・ 出穂始はハルジマンより3日遅く、トヨミドリより4日早い晩生品種です。
- ・ 出穂始の目安（全道平均）: 6月7日
- ・ 越冬性、収量性が優れます。
- ・ オーチャードグラスは再生力・競合力が優れます。

ペレニアルライグラス「フレンド」: 晩生

- ・ 出穂始の目安（道央）: 6月14日
- ・ 晩生で出穂が遅く、放牧利用に最適です。
- ・ 越冬性、春の萌芽が優れる多収品種。
- ・ 土壌凍結のない地域に適します。

メドウフェスク「リグロ」: 早生

- ・ 出穂始はハルサカエと同じ早生品種。
- ・ 出穂始の目安（全道平均）: 6月7日
- ・ 越冬性、永続性が優れ、少雪地域でも利用可能です。
- ・ チモシーの放牧草地に混播することで、秋の草量確保が期待できます。

フェストロリウム「バーフェスト」

- ・ バーフェストはメドウフェスクとペレニアルライグラスの属間雑種です。
- ・ 穂と葉の形態はペレニアルライグラスとほぼ同じですが、やや立型の草姿です。
- ・ 初期生育が良好で、1～2年目に特に多収となります。
- ・ 越冬性はペレニアルライグラス並ですので、道内でも多雪地域に適します。
- ・ 出穂始はフレンドより5日早く、ペレニアルライグラス中生品種とほぼ同じです。

ケンタッキーブルーグラス「ラトー」

- ・ 出穂始はトロイとほぼ同じ早生品種。
- ・ 越冬性、さび病抵抗性が優れます。
- ・ 発芽および初期生育が優れます。
- ・ 収量性が優れ、季節生産性はトロイと同程度で平準化しています。

アルファルファの混播例

草種	品種	播種量 (kg/10a)			
		アルファルファ主体①	アルファルファ主体②	チモシー主体	オーチャードグラス主体
アルファルファ	ケレス	2.0	2.0	0.2～0.5	0.5
チモシー	ホライズン (早生)	0.8	-	2.0	-
	アルテミス (中生の早)				
オーチャードグラス	バックス	-	0.8	-	2.3
シロクローバ	リベンデル	0.2	0.2	0.2	0.2
	合計	3.0	3.0	2.4～2.7	3.0

注) アルファルファが優占しやすい条件（肥沃な圃場、春播きなど）では、アルファルファの混播量を0.2kg程度まで減らします。逆に消失しやすい条件（痩せた圃場、8月中旬以降の播種など）では播種量を0.5kg程度まで増やします。

アカクローバ「マキミドリ」: 早生

- ・ 開花始はナツユウとほぼ同じ早生品種。
- ・ 開花始の目安（全道平均）: 6月20日
- ・ 越冬性、永続性が優れます。
- ・ うどんこ病、ウイルス病抵抗性が優れます。

アカクローバ「アレス」: 晩生

- ・ 開花始は6月末～7月上旬の晩生品種。
- ・ 越冬性、永続性が優れます。
- ・ 競合力が穏やかでチモシー中生品種との混播に最適です。
- ・ 春播きやマメ科牧草が優占しやすい地域での利用に適します。

シロクローバ「リベンデル」: 小葉型

- ・ 葉が小さく、競合力が穏やかなため、チモシーとの混播に最適。
- ・ マメ科が優先しやすい条件、地域での利用にも適します。
- ・ ほふく茎の密度が高く、放牧利用にも適します。
- ・ 越冬性、永続性が優れます。

シロクローバ「ルナメイ」: 大葉型

- ・ 葉が大きく生育が旺盛なため、オーチャードグラス、ペレニアルライグラス、メドウフェスクとの混播に最適。マメ科が衰退しやすい冷涼な地域での利用に適します。
- ・ 採草、放牧のどちらにも利用できます。
- ・ 越冬性、永続性が優れます。

アルファルファ「ケレス」: 早生

- ・ 雪腐病や凍害に強いいため、多雪・少雪に関わらず全道的に利用できます。
- ・ バージェシリウム萎ちょう病やそばかす病にも強いいため、永続性が優れます。
- ・ ケレスは北海道全域で栽培が可能で、いずれの地域でも他の品種と比べて多収となります。